

「平成31年度 女性医師支援に関するアンケート調査(医学会版)」

●調査日時:平成31年(2019年)4月1日現在

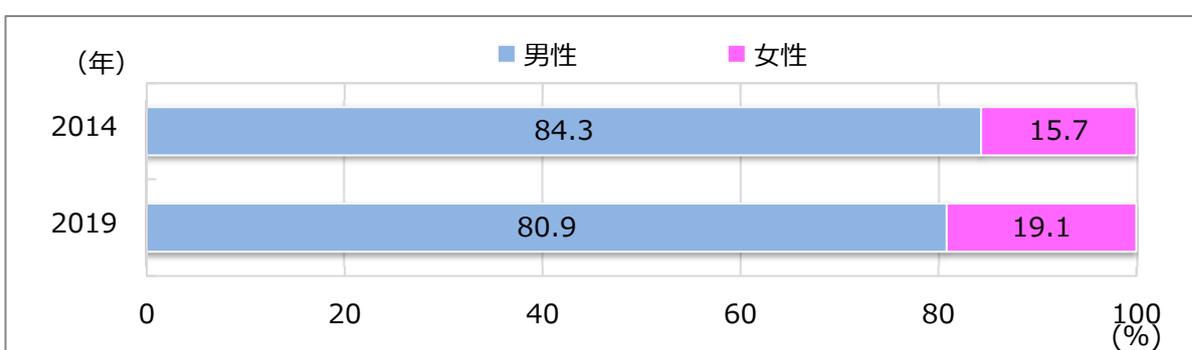
●調査対象:日本医学会分科会

●回収率

	回収数	学会数	回収率(%)
H26年(2014年)調査	101	118	85.6
H31年(2019年)調査	87	133	65.4

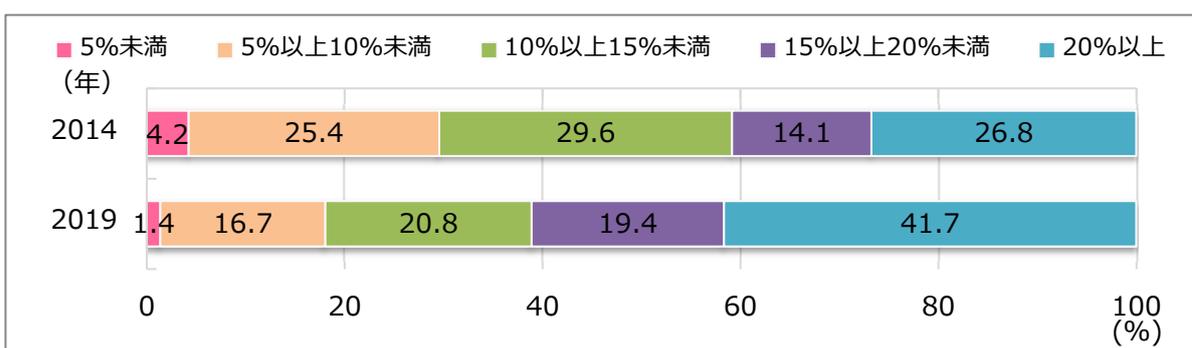
問1:貴学会員のうち医師数と女性医師数についてお答えください。

<1>学会に所属する医師数の性別割合



年	医師数			%		
	男性	女性	計	男性	女性	計
2014	416,845	77,554	494,399	84.3	15.7	100.0
2019	535,758	126,886	662,644	80.9	19.1	100.0

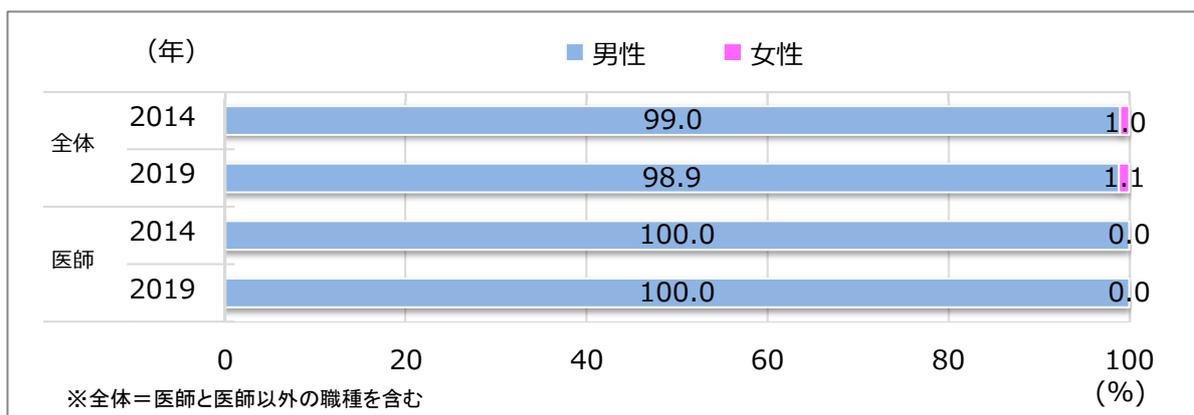
<2>各学会の医師数に占める女性医師の割合区分別



年	単位	5%未満	5%以上10%未満	10%以上15%未満	15%以上20%未満	20%以上	計
2014	学会数	3	18	21	10	19	71
	%	4.2	25.4	29.6	14.1	26.8	100.0
2019	学会数	1	12	15	14	30	72
	%	1.4	16.7	20.8	19.4	41.7	100.0

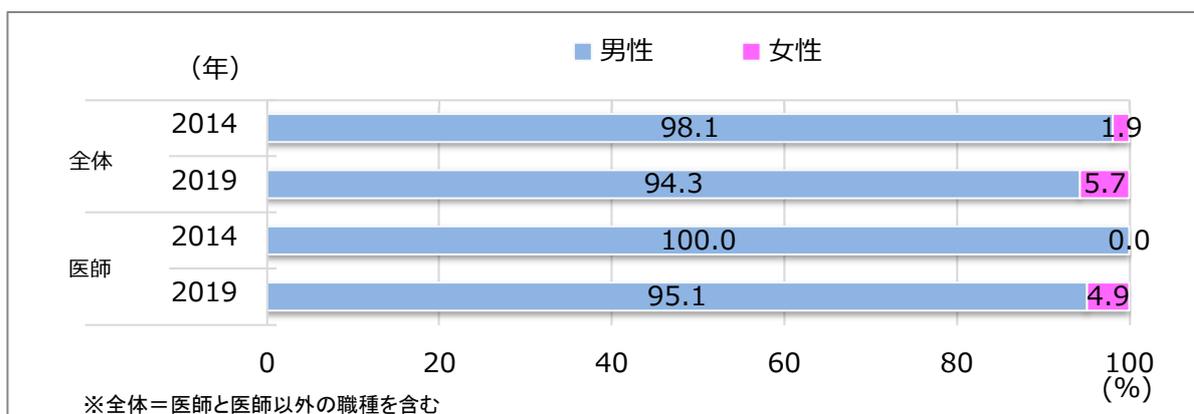
問2:貴学会の役員、評議員(代議員)数についてお答えください。

<1>会長(理事長)の性別割合



	年	人		%	
		男性	女性	男性	女性
全体	2014	101	1	99.0	1.0
	2019	87	1	98.9	1.1
医師	2014	88	0	100.0	0.0
	2019	85	0	100.0	0.0

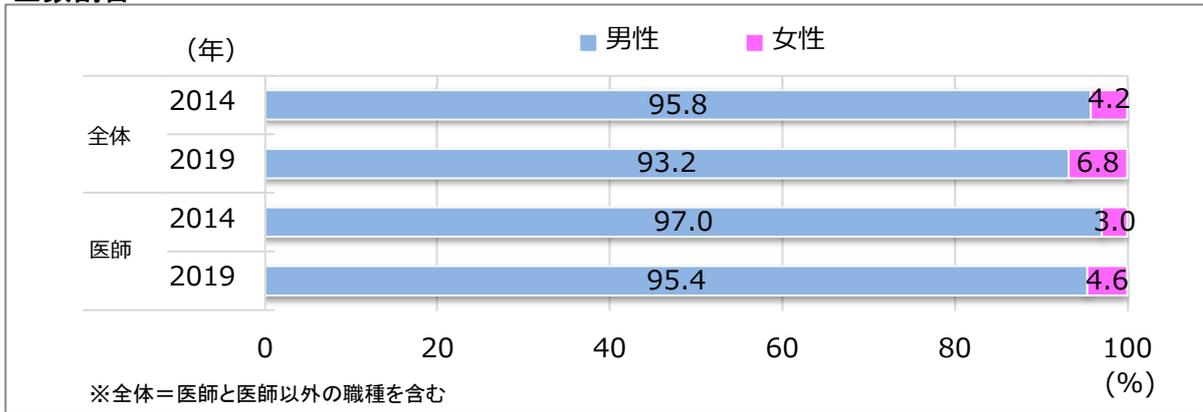
<2>副会長(副理事長)の性別割合



	年	人		%	
		男性	女性	男性	女性
全体	2014	103	2	98.1	1.9
	2019	99	6	94.3	5.7
医師	2014	82	0	100.0	0.0
	2019	97	5	95.1	4.9

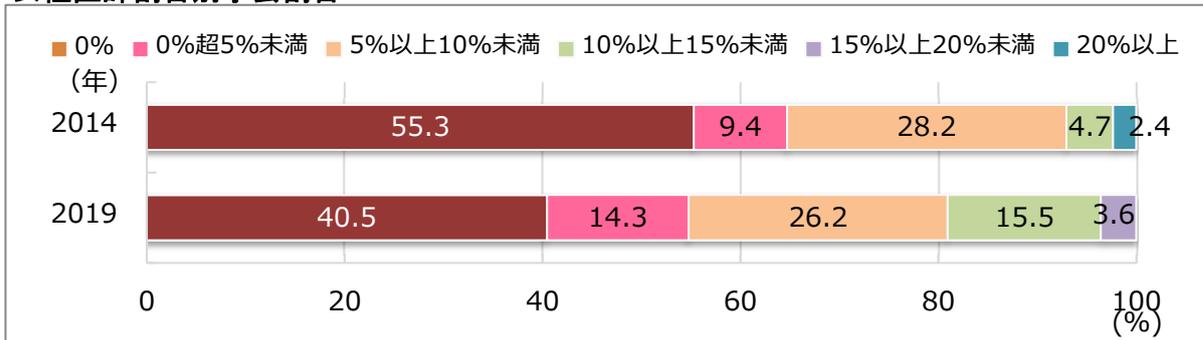
<3>理事の性別割合

全数割合



	年	人		%	
		男性	女性	男性	女性
全体	2014	1,824	80	95.8	4.2
	2019	1,698	124	93.2	6.8
医師	2014	1,506	46	97.0	3.0
	2019	1,529	74	95.4	4.6

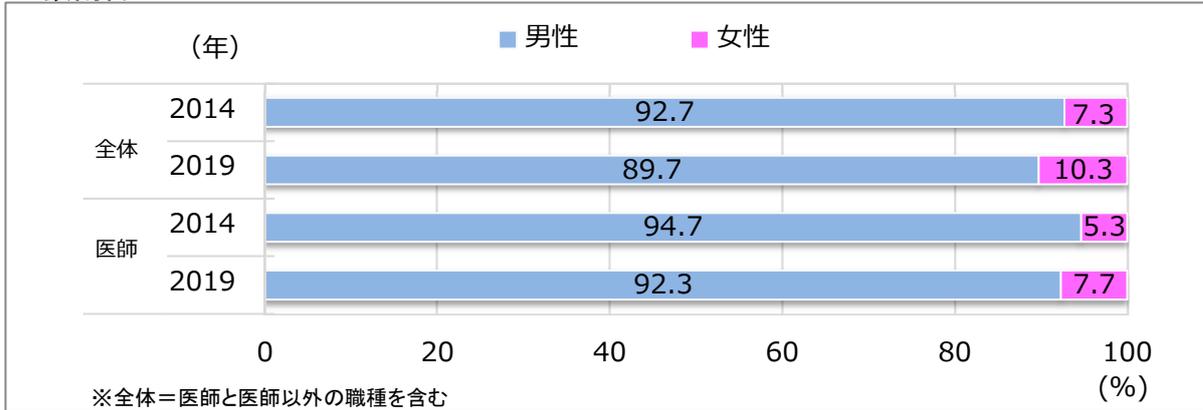
女性医師割合別学会割合



	単位	0%	0%超5%未満	5%以上10%未満	10%以上15%未満	15%以上20%未満	20%以上	計
2014	学会数	47	8	24	4	0	2	85
	%	55.3	9.4	28.2	4.7	0.0	2.4	100
2019	学会数	34	12	22	13	3	0	84
	%	40.5	14.3	26.2	15.5	3.6	0.0	100

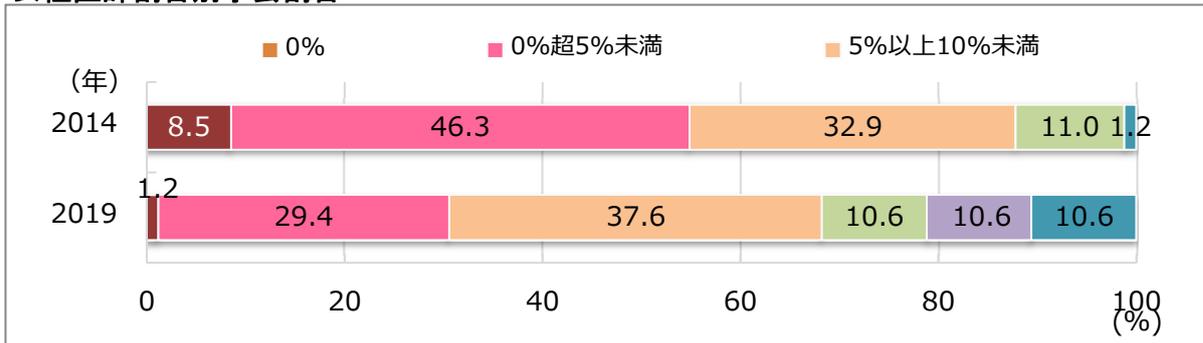
<4>評議員(代議員)の性別割合

全数割合



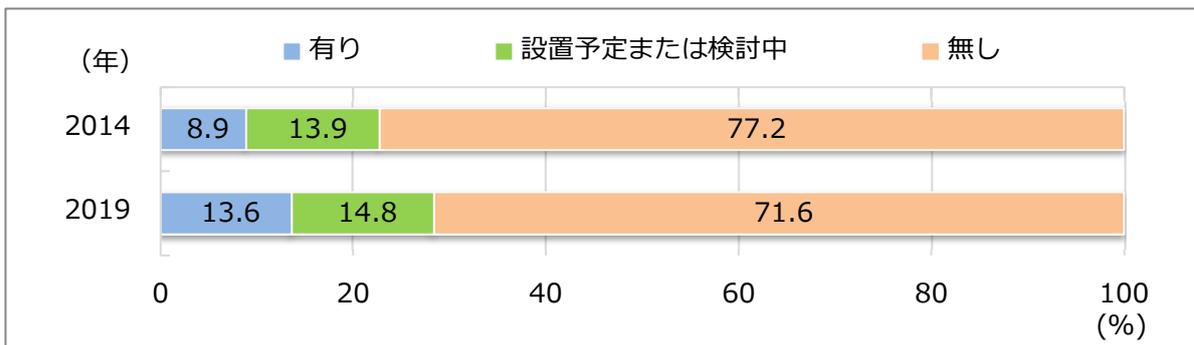
	年	人		%	
		男性	女性	男性	女性
全体	2014	31,514	2,468	92.7	7.3
	2019	24,537	2,805	89.7	10.3
医師	2014	25,261	1,420	94.7	5.3
	2019	20,906	1,739	92.3	7.7

女性医師割合別学会割合



	単位	0%	0%超5%未満	5%以上10%未満	10%以上15%未満	15%以上20%未満	20%以上	計
		2014	学会数	7	38	27	9	
	%	8.5	46.3	32.9	11.0	0.0	1.2	100
2019	学会数	1	25	32	9	9	9	85
	%	1.2	29.4	37.6	10.6	10.6	10.6	100

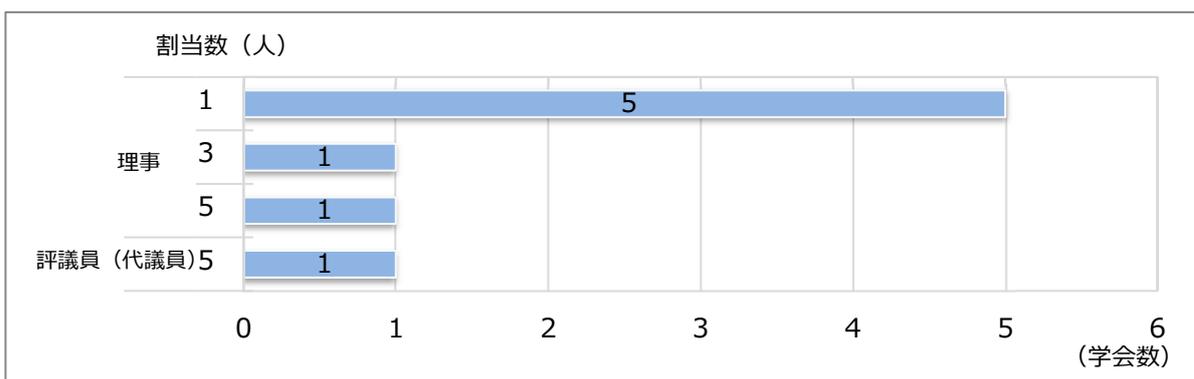
問3-1: 貴学会の役員、評議員(代議員)選出に関して、クォータ制(割当制)等、女性医師へのポジティブアクションはございますか。



年	学会数				%			
	有り	設定予定または検討中*	無し	計	有り	設定予定または検討中*	無し	計
2014	9	14	78	101	8.9	13.9	77.2	100.0
2019	12	13	63	88	13.6	14.8	71.6	100.0

※2014年の選択肢は「導入予定または検討中」

問3-2: 女性医師割当数



	割当数(人)	学会数	n数
副会長	0	9	9
理事	1	5	
	3	1	
	5	1	
評議員(代議員)	5	1	

※2019年調査のみの設問。

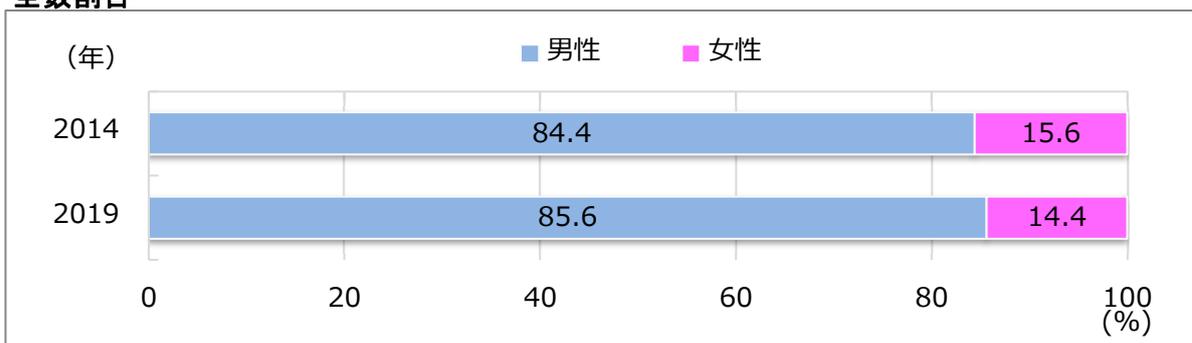
問4: 貴学会に専門医制度はございますか。



年	学会数			%		
	有り	無し	計	有り	無し	計
2014	68	33	101	67.3	32.7	100.0
2019	64	24	88	72.7	27.3	100.0

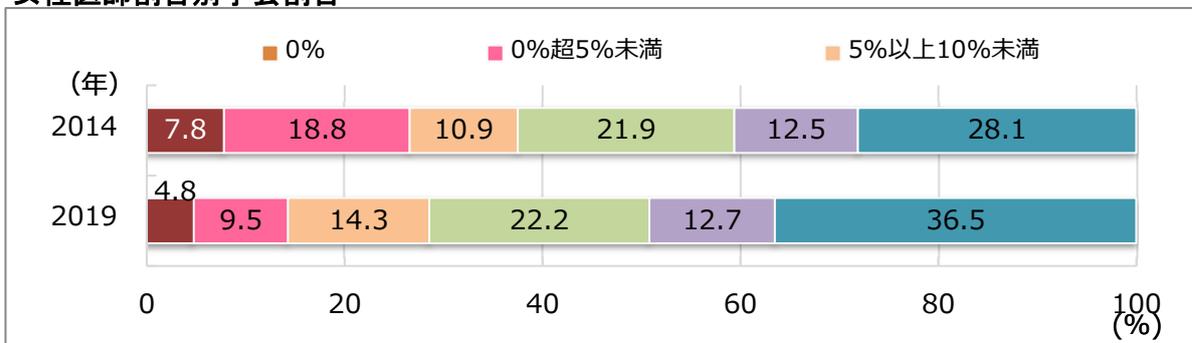
問5: 専門医数と女性専門医数についてお答えください。

全数割合



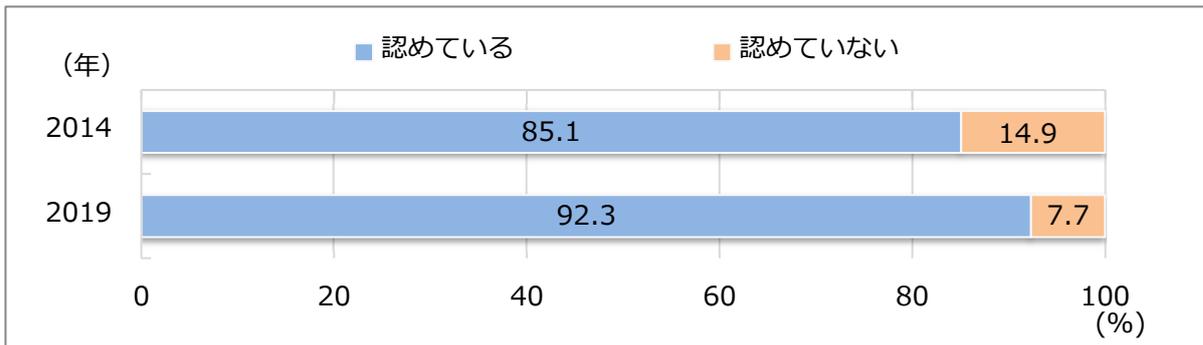
年	専門医数			%		
	男性	女性	計	男性	女性	計
2014	202,244	37,387	239,631	84.4	15.6	100.0
2019	270,995	45,453	316,448	85.6	14.4	100.0

女性医師割合別学会割合



年	単位	0%	0%超5%未満	5%以上10%未満	10%以上15%未満	15%以上20%未満	20%以上	計
2014	学会数	5	12	7	14	8	18	64
	%	7.8	18.8	10.9	21.9	12.5	28.1	100
2019	学会数	3	6	9	14	8	23	63
	%	4.8	9.5	14.3	22.2	12.7	36.5	100

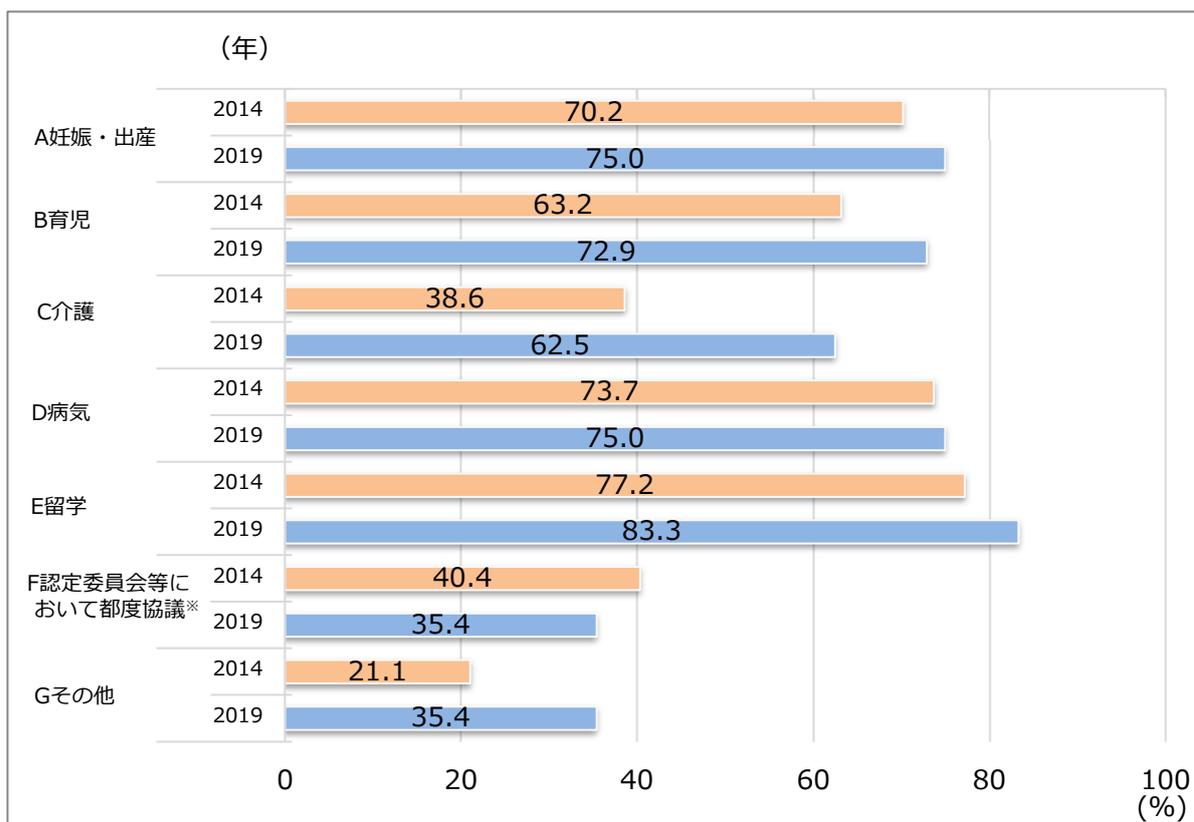
問6: 専門医更新期間の延長を認めていますか。



年	学会数			%		
	認めている	認めていない	計	認めている	認めていない	計
2014	57	10	67	85.1	14.9	100.0
2019	48	4	52	92.3	7.7	100.0

※2019年調査では「当学会は基本領域のため、回答不要」の回答が12件あり、本設問において集計から除外した。

**問7-1: 専門医更新期間について延長を認める場合の条件についてお答えください。
(複数回答)**



	年	有り	無し	有り%
A妊娠・出産	2014	40	17	70.2
	2019	36	12	75.0
B育児	2014	36	21	63.2
	2019	35	13	72.9
C介護	2014	22	35	38.6
	2019	30	18	62.5
D病気	2014	42	15	73.7
	2019	36	12	75.0
E留学	2014	44	13	77.2
	2019	40	8	83.3
F認定委員会等において都度協議※	2014	23	34	40.4
	2019	17	31	35.4
Gその他	2014	12	45	21.1
	2019	17	31	35.4

※2014年の選択肢は「都度協議」

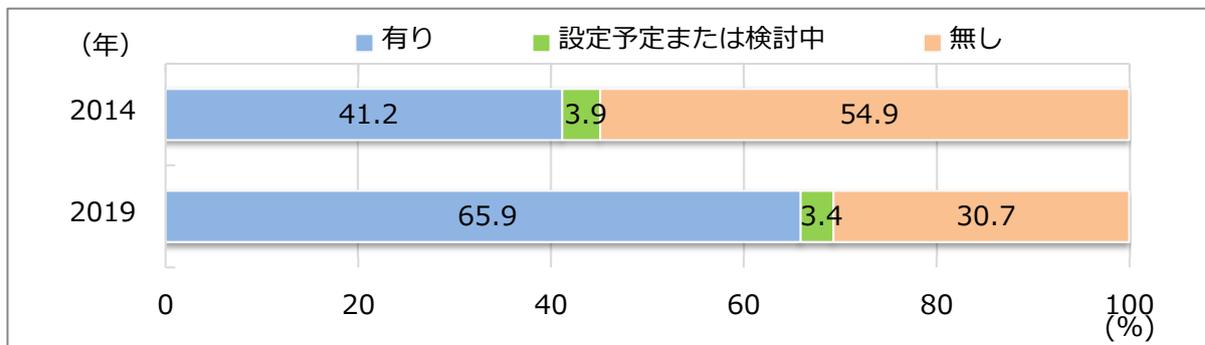
問7-2:(問7-1)「認定委員会等において都度協議」において主にどのような場合ですか。

(1)	天災等(4件)
(2)	留学(3件)
(3)	更新要件のセミナーに出席できなかった場合など
(4)	病気療養など
(5)	本人から申請があった場合
(6)	多忙、更新時期の勘違い、近隣で研修会が開催されない等
(7)	指導医担当理事
(8)	更新の猶予に関しては専門医部会での審査となっているため(以下条文抜粋)8)更新の猶予 Q II-4-12 どのような場合に更新が猶予されますか。A II-4-12 一回の更新につき、次の場合2年間を限度とする猶予が認められます。海外留学、出産・育児、病気療養などが対象ですが、専門医審査部会での審査になります。
(9)	条件未達
(10)	妊娠・出産・育児・介護・病気などの理由で学会の定めた更新基準が満たせなかったとき。
(11)	前例はないが、相談があれば都度検討する。
(12)	特に定めてはいない

問7-3:(問7-1)その他の具体的内容

(1)	臨床外(行政機関に出向や健診業務に従事している場合等)の場合
(2)	海外留学を除くその他の理由として保留期間は1年単位とし通算2年を限度とする。
(3)	単位不足
(4)	病院長などの管理職就任
(5)	更新猶予制度
(6)	ケースバイケースで協議する
(7)	大学院・病院長就任、医療安全専従医師
(8)	災害支援、被災
(9)	学会が定めた更新基準が満たせなかったとき。
(10)	申請に必要な単位不足、申請失念
(11)	大学院、病院長就任、医療安全専従医師
(12)	更新単位不足、必須要件の教育講演会未参加
(13)	職務環境の変化等
(14)	正当な理由がある場合
(15)	大学院、病院長就任、医療安全専従医師

問8-1:貴学会内に女性医師支援や男女共同参画推進に関する内部組織はございますか。



年	学会数				%			
	有り	設定予定 または検討中	無し	計	有り	設定予定 または検討中	無し	計
2014	42	4	56	102	41.2	3.9	54.9	100.0
2019	58	3	27	88	65.9	3.4	30.7	100.0

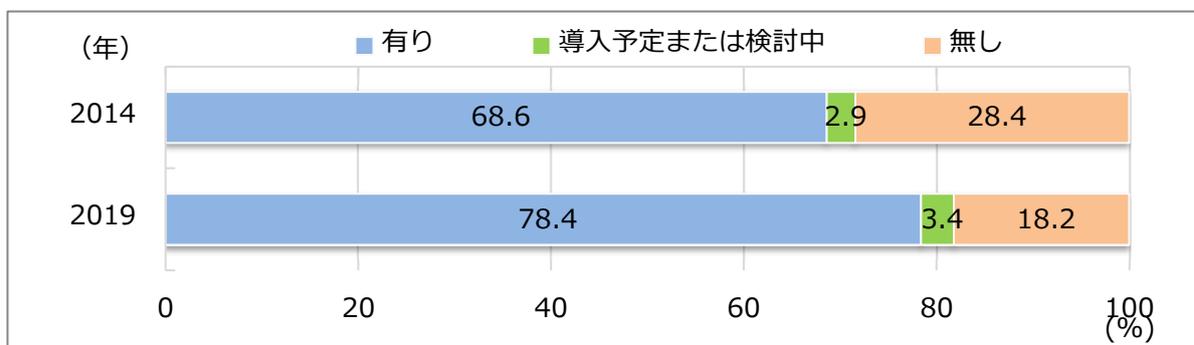
問8-2: 内部組織の名称、直近5年間で内部組織の名称が変更されている場合は旧名称。

	内部組織の名称	内部組織の旧名称
(1)	男女共同参画委員会(同一名称9件)	-
(2)	男女共同参画委員会	女性医師支援等検討委員会
(3)	男女共同参画委員会	女性外科医支援委員会(H26以前)
(4)	男女共同参画推進委員会(同一名称9件)	-
(5)	男女共同参画推進委員会	総務委員会 男女共同参画推進小委員会
(6)	男女共同参画推進特別委員会	(2013年5月～)救急医療における女性医師参画推進プロジェクト⇒(2014年2月)女性医師参画特別委員会
(7)	男女共同参画女性医師支援部会	-
(8)	男女共同参画・キャリア支援委員会	男女共同参画委員会
(9)	男女共同参画ワーキンググループ	-
(10)	男女共同参画WG	女性医師支援委員会
(11)	男女共同参画推進ワーキンググループ	-
(12)	男女共同参画・ワークライフバランス改善委員会	-
(13)	男女参画委員会	-
(14)	男女若手共同参画委員会	男女共同参画推進委員会
(15)	処遇改善・男女共同参画推進委員会	処遇改善委員会
(16)	チーム医療委員会 男女共同参画部会	-
(17)	総務委員会男女共同参画小委員会	2018年に小委員会を新設
(18)	総務・財務委員会	-
(19)	ダイバーシティ推進委員会	-
(20)	ダイバーシティ推進委員会	男女共同参画委員会
(21)	ダイバーシティ推進委員会	男女共同参画推進小委員会
(22)	ダイバーシティ推進・働き方改革委員会	ダイバーシティ推進委員会
(23)	多様性(ダイバーシティ)促進委員会	-
(24)	多様性推進特別委員会	-
(25)	キャリア支援委員会	女性医師支援ワーキンググループ
(26)	キャリア支援委員会	皮膚科の女性医師を考える会
(27)	キャリア支援委員会	女性消化器医師支援委員会
(28)	キャリアアップ委員会	女性医師支援ワーキンググループ
(29)	キャリアパス委員会	-
(30)	キャリア形成促進委員会	-
(31)	女性内視鏡医キャリアサポートWG	-
(32)	女性糖尿病医をpromoteする委員会	-
(33)	将来検討委員会	-
(34)	ワークライフバランス委員会	女性支援WG
(35)	働き方検討委員会	男女共同参画委員会
(36)	女性活躍部会	男女共同参画部会
(37)	女性医師が学会運営に携わることを推進するワーキンググループ	-
(38)	女性医師支援委員会	-
(39)	がん放射線治療推進委員会	-
(40)	戦略企画会議	-
(41)	女性会員の活動を推進するための委員会	-
(42)	学会活性化男女共同参画・若手等WG	学会活性化委員会

問8-6: 女性医師支援や男女共同参画に関するページはありますか。

	組織名	URL
(1)	日本耳鼻咽喉科学会	http://www.jibika.or.jp/members/sankaku/index.html
(2)	日本消化器病学会	http://jsge.or.jp/wgdsc
(3)	日本ペインクリニック学会	https://www.jspc.gr.jp/danjyo/danjyo.html/
(4)	日本糖尿病学会	http://www.jds.or.jp/modules/education/index.php?content_id=12
(5)	日本病理学会	http://pathology.or.jp/
(6)	日本透析医学会	https://www.jsdt.or.jp/jsdt/1924.html
(7)	日本気管食道科学会	http://www.kishoku.gr.jp/member/gender/index.html
(8)	日本アレルギー学会	https://www.jsaweb.jp/modules/about/index.php?content_id=73
(9)	日本臨床検査医学会	https://jslm.org/committees/women/index.html
(10)	日本皮膚科学会	https://www.dermatol.or.jp/modules/woman/index.php?content_id=1
(11)	日本泌尿器科学会	http://www.urol.or.jp/society/gender/about.html
(12)	日本腎臓学会	https://www.jsn.or.jp/committee/
(13)	日本放射線腫瘍学会	http://www.jawro.jp/
(14)	日本産科婦人科学会	http://www.jsog.or.jp/wlb/index.html
(15)	日本リウマチ学会	https://www.ryumachi-jp.com/guidance/gender/
(16)	日本循環器学会	http://www.j-circ.or.jp/information/kyodo/index.html
(17)	日本形成外科学会	http://www.jsprs.or.jp/member/woman/
(18)	日本生化学会	http://www.jbsoc.or.jp/joint_participation
(19)	日本救急医学会	http://www.jaam.jp/html/joseiishisankaku/index.html
(20)	日本肝臓学会	https://www.jsh.or.jp/medical/committeeactivity/danjokyoudou
(21)	日本内分泌学会	http://www.j-endo.jp/modules/edu/index.php?content_id=7

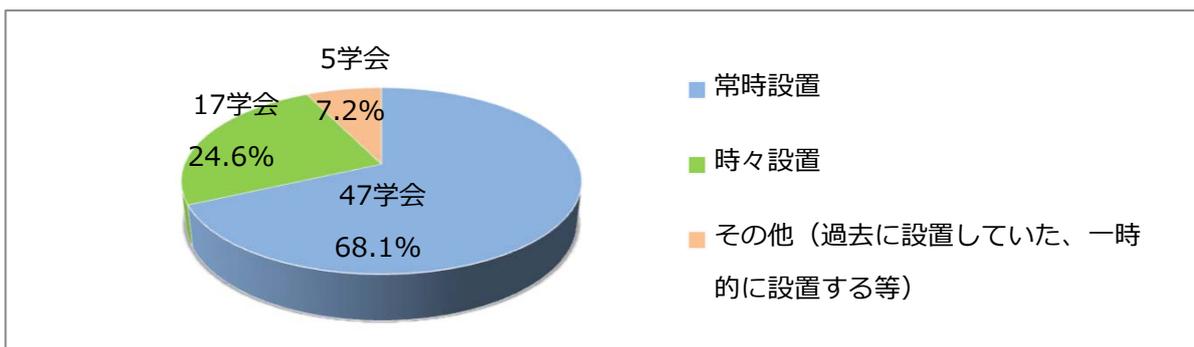
問9-1: 学会総会、学術講演会等に託児所を設置していますか。



年	学会数				%			
	有り	導入予定 または検討中*	無し	計	有り	導入予定 または検討中*	無し	計
2014	70	3	29	102	68.6	2.9	28.4	100.0
2019	69	3	16	88	78.4	3.4	18.2	100.0

※2014年調査の選択肢は「設置予定または検討中」

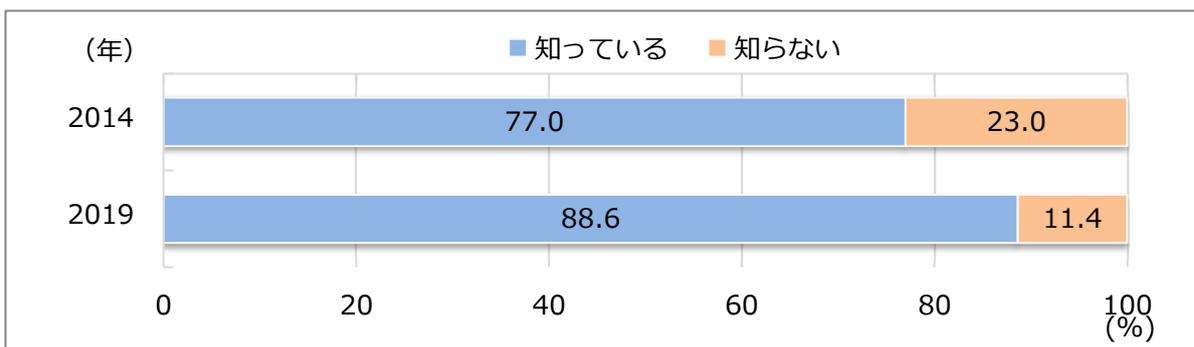
問9-2: 託児所はどのような設置状況ですか？



	2019年	
	学会数	%
常時設置	47	68.1%
時々設置	17	24.6%
その他 (過去に設置していた、一時的に設置する等)	5	7.2%
計	69	100.0%

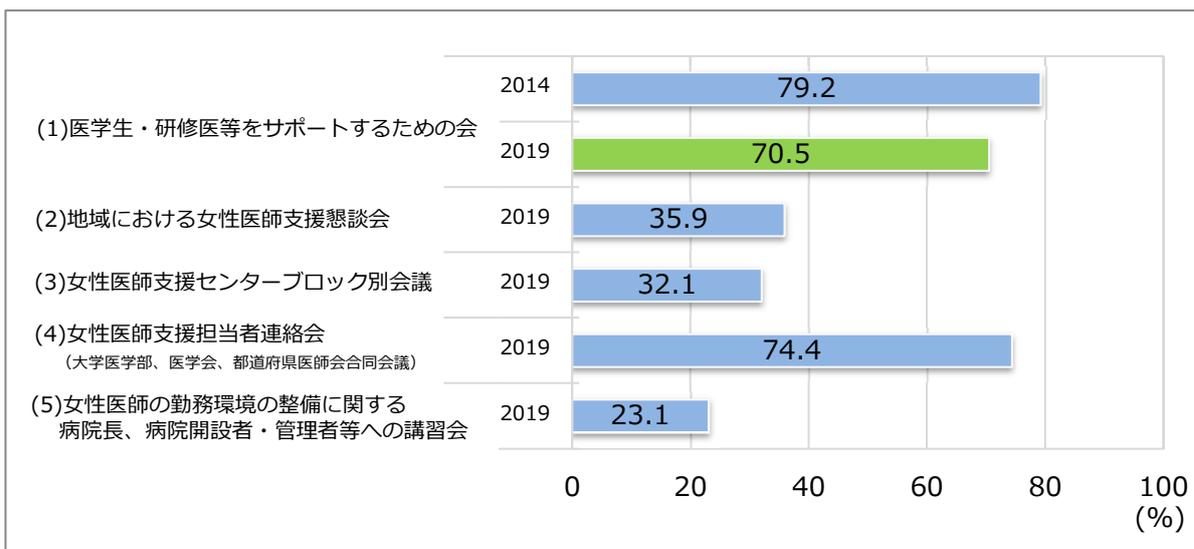
※2019年調査のみの設問。

問10-1: 日本医師会女性医師支援センターや日本医師会女性医師バンクをご存じですか。



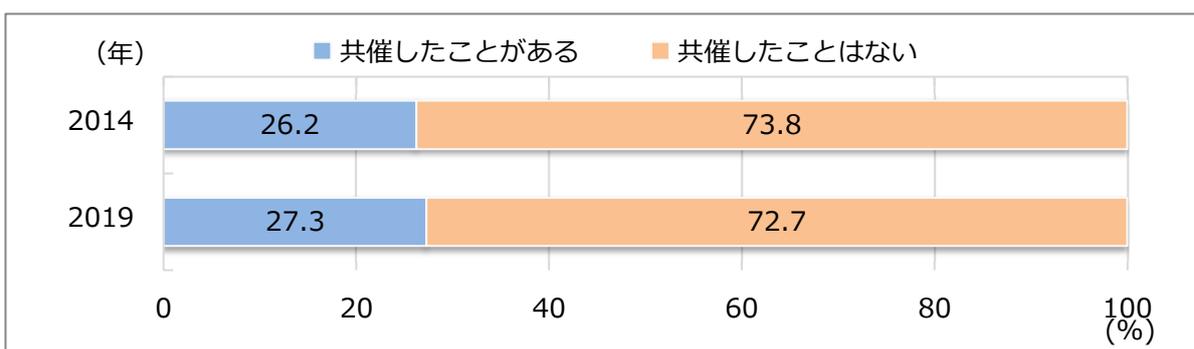
年	学会数			%		
	知っている	知らない	計	知っている	知らない	計
2014	77	23	100	77.0	23.0	100.0
2019	78	10	88	88.6	11.4	100.0

問10-2: 日本医師会女性医師支援センターの活動について、ご存知の活動。



	年	学会数		%
		有り	無し	有り
(1)医学生・研修医等をサポートするための会	2014	61	16	79.2
	2019	55	23	70.5
(2)地域における女性医師支援懇談会	2019	28	50	35.9
(3)女性医師支援センターブロック別会議	2019	25	53	32.1
(4)女性医師支援担当者連絡会 (大学医学部、医学会、都道府県医師会合同会議)	2019	58	20	74.4
(5)女性医師の勤務環境の整備に関する 病院長、病院開設者・管理者等への講習会	2019	18	60	23.1

問10-2(1): 「医学生・研修医等をサポートするための会」を共催したことがありますか？



年	学会数			%		
	共催した ことがある	共催した ことはない	計	共催した ことがある	共催した ことはない	計
2014	16	45	61	26.2	73.8	100.0
2019	18	48	66	27.3	72.7	100.0

ご意見・ご要望

(1)	学術集会の座長に評議員数に応じた女性座長を当てるように心がけている。
(2)	日本専門医機構の専門医制度に対して、脳神経外科系の日本脊髄外科学会と共通した専門医制度の申請を予定している。本学会の分野は、外科医としての修練にかなりの経験と時間が必要であり、これまで女性医師の参画しづらい状況であった。しかし、手術技法の進歩により女性医師が専門医資格を目指すことは可能な時代となってきたので、今後は積極的にリクルートを行う予定である。
(3)	妊娠・出産や病気療養等により、休暇取得をした場合には、休暇理由、休暇期間を証明できる書類の提出により、業績期間の延長を認める方向で協議中。
(4)	今回の回答の補足になりますが、当学会では正式な評議員制は採用していません。ただし、それに代わるものとして学術評議員のしくみを採用しています。
(5)	若手の会の研究発表会(総会とは別に年1回開催)の際には必要に応じて託児所を設置しています
(6)	クォーター制は設けていないが、評議員女性特別枠を設けて地方会からの推薦を受けている。
(7)	(1)女性医師へのサポートにより、それを支える他の医師への視点(処遇改善他)の議論も必要ではないかと思えます。 (2)医師の働き方改革に 女性医師をうまく活用して、医師全体のモチベーションや幸せにつながるような制度ができれば良いと思っています。
(8)	女性医師関連の問題については会員委員会を中心に検討しております。役員の割当制については、会員アンケートで意見聴取をしておりますが、「逆差別になる」という意見もあり、実現には至っておりません。
(9)	形成外科では、女性支援ワーキンググループから、昨年キャリア支援委員会に名称変更を行い、委員会が後援する2時間の特別プログラムを昨年の総会より開始しました。ロールモデル探しを目的に、現在、過去、未来のライフワークバランスの報告から、個々に適したキャリア支援サポートにつなげたいと考えています。
(10)	役員、評議員については具体的な数字は設けておりませんが、女性の登用を積極的に進めております。
(11)	画像診断は遠隔診療が発達しており、育児や介護と仕事を両立する女性に働きやすい環境が他科よりもすすんでいると思われれます。また、H30年度から、診療報酬でも在宅読影で画像診断管理加算が認められることになりました。紹介する機会を賜ることができれば光栄です。よろしくお願いいたします。
(12)	日本疫学会は医師以外の会員も多数おります。女性医師に限って支援するといった取り組みは今のところ行なっておらず、女性のみならず医師以外の多様な職能・資格を有する会員の積極的支援に向けて取り組んでおります。